



TITLE:

麥谷邦夫教授著作目録

AUTHOR(S):

CITATION:

麥谷邦夫教授著作目録. 東方學報 2013, 88: 551-554

ISSUE DATE:

2013-12-20

URL:

<https://doi.org/10.14989/180558>

RIGHT:

麥谷邦夫教授著作目錄

編著書

- 『老子・列子』 學習研究社 一九八三年三月
『老子想爾注索引』 朋友書店 一九八五年二月
『養性延命錄訓注』 科學研究費補助金總合研究 (A) 「中國古代養生思想の總合的研究」 報告書 一九八七年三月
『眞誥索引』 京都大學人文科學研究所 一九九一年三月
『眞誥研究 (譯注篇)』 (吉川忠夫と共編) 京都大學人文科學研究所 二〇〇〇年三月
『道樞一字索引』 (宮澤正順、金正耀と共編) 松香堂 二〇〇二年三月
『中國中世社會と宗教』 道氣社 二〇〇二年四月
『周氏冥通記研究 (譯注篇)』 (吉川忠夫と共編) 京都大學人文科學研究所 二〇〇三年三月
『周氏冥通記索引』 京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター 二〇〇三年三月
『太上老君說常清靜經註索引』 道氣社 二〇〇三年三月
『三教交涉論叢』 京都大學人文科學研究所 二〇〇五年三月
『眞誥校註』 (吉川忠夫と共編、朱越利譯) 中國社會科學出版社 二〇〇六年二月

『眞誥研究 (譯注篇)』の中國語版

- 『唐玄宗金剛般若波羅蜜經注索引』 京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター 二〇〇七年三月
『江南道教の研究』 科學研究費補助金基盤研究 (B) 「江南道教の研究」 報告書 二〇〇七年三月
『江南地方志二十五種道教關係記事集成』 科學研究費補助金基盤研究 (B) 「江南道教の研究」 報告書 二〇〇七年三月
『周氏冥通記』 (吉川忠夫と共編、劉雄峰譯) 齊魯書社 二〇一〇年一月
『周氏冥通記研究 (譯注篇)』の中國語版
『三教交涉論叢續編』 京都大學人文科學研究所 二〇一一年三月
『道藏輯要』と明清時代の宗教文化』 科學研究費補助金基盤研究 (A) 「道藏輯要』と明清時代の宗教文化」 報告書 二〇一二年三月

論文

- 『陶弘景年譜考略 (上) (下)』 『東方宗教』 第四七、四八號 一九七六年四、五月
『初期道教における救済思想』 『東洋文化』 第五七號 一九七七年三月
『道家・道教における氣』 『氣の思想』 東京大學出版會 一九七八年三月

- 「道教的生成論の形成と展開——『氣の思想』補論——」『東大文哲文學會報』第四號 一九七九年六月
- 「黃庭內景經」試論」『東洋文化』第六二號 一九八二年三月
- 「老子想爾注」について」『東方學報（京都）』第五七冊 一九八五年三月
- 「養生方」『新發現中國科學史資料の研究（譯注篇）』京都大學人文科學研究所 一九八五年三月
- 「南北朝隋唐道教教義學管窺——以《道教義樞》爲綫索」『日本學者論中國哲學』中華書局 一九八六年一月
- 「唐・玄宗『道德真經』注疏における「妙本」について」『道教と宗教文化』平河出版社 一九八七年三月
- 「陶弘景——上清派道教の大成者」『中國思想史』ペリかん社 一九八七年三月
- 「明清時代の日用百科全書について」科學研究費補助金一般研究（B）「一八、一九世紀節用集の政治社會學的研究」報告書 一九八八年八月
- 「道教における天界説の諸相」『東洋學術研究』第二七號別冊 一九八八年一月
- 「道と氣と神——道教教理における意義をめぐって——」『人文學報』第六五號 一九八九年三月
- 「禮制に見える老人と子供」『安定期社會における人生の諸相——老人と子供——』（第一回京都國際セミナー報告書）一九八九年一〇月
- 「唐・玄宗御注『道德真經』および疏撰述をめぐる二、三の問題」『東方學報』第六二冊 一九九〇年三月
- 「始と終」『岩波講座・東洋思想第一三卷』岩波書店 一九九〇年四月
- 「古と今」『岩波講座・東洋思想第一三卷』岩波書店 一九九〇年四月
- 「長と短」『岩波講座・東洋思想第一三卷』岩波書店 一九九〇年四月
- 「大と小」『岩波講座・東洋思想第一三卷』岩波書店 一九九〇年四月
- 「唐玄宗《道德真經》注疏中的「妙本」」『世界宗教研究』一九九〇年第二期 一九九〇年六月
- 「『大洞真經三十九章』をめぐって」『中國古道教史研究』同朋舍出版 一九九二年三月
- 「梁天監十八年紀年銘墓磚と天監年間の陶弘景」『中國中世の文物』京都大學人文科學研究所 一九九二年三月
- Doagi: Existence Between God and Man. "The Comparison between Concepts of Life-Breath in East and West", IshiyakuEuroAmerica, Inc. 1995. 1
- 「中國養生文化の傳統と益軒」『貝原益軒——天地和樂の文明學——』平凡社 一九九五年二月
- 「食物禁忌の起源とその社會的文化的影響」『浦上財團研究報告書』第五號 一九九六年二月
- 「陶弘景の醫藥學と道教」『六朝道教の研究』春秋社 一九九八年二月
- 「氣」の宗教としての道教」"The Second Symposium on the Cross-Cultural Cooperation based on Religion and Science", The Fund for Cross-Cultural Cooperation, 1998. 5
- 「六朝隋唐期道教における「心」略論」『中國人と道教』汲古書院 一九九八年一月
- 「唐玄宗《道德真經》注疏之撰述與其思想特徵」『道家文化研究』第一五輯 三聯書店 一九九九年三月
- 「唐代老子注釋學と佛教」『北朝隋唐 佛教思想史』法藏館 二〇〇〇年二月
- 「穀食忌避の思想——辟穀の傳統をめぐって——」『東方學報（京都）』第七二冊 二〇〇〇年三月
- 「禪佛教による内丹道の超克・全眞教の開祖——王重陽」『中國思想の流れ（中）』晃洋書房 二〇〇〇年五月
- 「太上老君說常清靜經」考——杜光庭注との關聯で——」『唐代の宗教』朋友書店 二〇〇〇年九月
- 「道教與日本古代的北辰北斗信仰」『宗教學研究』二〇〇〇年第三期 二〇〇〇年六月

- 〇〇年九月
- 「道教教理思想の核心は何か——道・氣・神三位一體説の意義——」『道教教理思想の核心は何か——道・氣・神三位一體説の意義——』道教と東アジア文化（国際シンポジウム一三報告書） 国際日本文化研究センター 二〇〇〇年十一月
- 「道家・道教と氣」『中國思想文化事典』 東京大學出版會 二〇〇一年七月
- 「貴無論と崇有論」『中國思想文化事典』 東京大學出版會 二〇〇一年七月
- 「眞父母考——道教における眞父母の概念と孝をめぐって——」『中國中世社會と宗教』二〇〇二年四月
- 「竹中通庵『古今養性錄』と貝原益軒『願生輯要』『養生訓』」『宮澤正順博士古希記念 東洋——比較文化論集——』 青史出版 二〇〇四年一月
- Filial Piety and "authentic parents" in religious Daoism, "Filial Piety in Chinese Thought and History", ed. Alan K. L. Chan and Sor-hoon Tan, RoutledgeCurzon, London, 2004. 10
- 「華陽隱居への道——若き日の陶弘景と草創期の茅山」『坂出祥伸先生退休記念論集 中國思想における身體・自然・信仰』 東方書店 二〇〇四年八月
- 「道教類書と教理體系」『中國宗教文獻研究國際シンポジウム報告書』二〇〇四年十一月
- 後に「道教類書と教理體系」『中國宗教文獻研究』 臨川書店 二〇〇七年二月
- 「唐代封禪議小考」『中國文明の形成』 朋友書店 二〇〇五年三月
- 「道教義樞」と南北朝隋唐期の道教教理學」『三教交渉論叢』 京都大學人文科學研究所 二〇〇五年三月
- 「劉混康略年譜」『江南道教の研究』（科學研究費補助金基盤研究（B）「江南道教の研究」報告書） 二〇〇七年三月
- 「道教教理的形成與道氣論」『跨文化視野下的東亞宗教傳統 第二次小型研討會豫稿集』 中央研究院文哲研究所 二〇〇七年九月
- 後に「道教教理的形成與道氣論」『跨文化視野下的東亞宗教傳統…體用修證篇』 中央研究院文哲研究所 二〇一〇年十二月
- 「吳筠事跡考」『東方學報（京都）』第八五冊 二〇一〇年三月
- 「唐・玄宗の三經御注をめぐる諸問題——『御注金剛般若經』を中心に——」『三教交渉論叢續編』 京都大學人文科學研究所 二〇一一年三月
- 「曇鸞と陶弘景——『仙方十卷』をめぐる——」『中國印度宗教史とくに佛教史における書物の流通傳播と人物移動の地域特性』（科學研究費補助金基盤研究（B）「中國印度宗教史とくに佛教史における書物の流通傳播と人物移動の地域特性」報告書） 二〇一一年三月
- 「關聖帝君前史」『關帝信仰與現代社會國際學術暨皈依科儀研討會會議論文集』二〇一一年一〇月
- 「道教義樞」序文に見える「王家八竝」をめぐる——道教教理學と三論學派の論法——『中國思想史研究』第三三號 二〇一二年十一月
- 書評
- 中嶋隆藏『六朝思想の研究——士大夫と佛教——』『集刊東洋學』第五六號 一九八六年十一月
- 砂山稔『隋唐道教思想史研究』『東方宗教』第七六號 一九九〇年十一月
- 堀池信夫・砂山稔編『道教研究の最先端』『東方宗教』第一一三號 二〇〇九年五月
- その他
- 「中國古代思想と風」『is』第一八號 一九八二年九月
- 「道教の北斗信仰」『月刊百科』第二五五號 一九八四年一月
- 「中華人民共和國における道教研究の現況について」『東方宗教』第七二號 一九八八年十一月
- 「道教遺跡參訪記」『東方宗教』第七三號 一九八九年五月

「ODMC ONVについて」『京都大學大型計算機センター廣報』第二二卷

第四號 一九八九年八月

「茅山——江南の道教聖地」『日中文化研究』第四號 一九九三年四月

「氣と道教」『別冊歴史讀本（臨時増刊）』一九九四年二月

「多言語エディターMulleを使用した檢索システム」『第四三回研究セミナー（東洋學へのコンピューター利用）報告集』京都大學大型計算

機センター 一九九四年三月

「北極星と北斗七星」『月刊しにか』四卷七號 一九九四年七月

「古典の世界 抱朴子内篇（二）（三）」『中國語』一九九六年七、八、九

月號 一九九六年六―八月

「天界の神々——星に祈る」『月刊しにか』八卷一號 一九九六年十二月

後に『道教の神々と祭り』（野口鐵郎他編、大修館書店、二〇〇四年）

に所収。

「中國思想研究者のためのインターネット資源簡介」『中國思想史研究』第

二三號 二〇〇一年七月